

2018年11月2日

各位

会社名 佐世保重工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 名村 建介
問合せ先 総務部長 廣津 忠
(Tel 0956-25-9111)

「2019年3月期第2四半期決算」に関するお知らせ

当社グループの当第2四半期連結決算について下記のとおりお知らせします。

記

1. 当第2四半期連結決算の状況（2018年4月1日～2018年9月30日）

(1) 損益状況

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
2019年3月期 第2四半期	14,577	▲1,065	▲768	▲853
2018年3月期 第2四半期	18,109	▲3,697	▲3,792	▲4,180

(2) 売上高のセグメント別内訳

(単位：百万円)

	新造船	艦艇・修繕船	機械	その他	合計
2019年3月期 第2四半期	8,322	4,996	902	355	14,577
2018年3月期 第2四半期	12,564	4,302	874	367	18,109

2. 当第2四半期連結決算の概要

当社グループの中核事業である新造船事業における事業環境は、過剰船腹の調整が継続的に進んでいることから海運市況は回復基調にあるものの、新造船市況については鋼材価格の値上げによるコストアップを背景に船価の大幅な値上げを求める造船所側と従来同様の低船価を求める船主側との間で膠着状態が続いているために成約量は低水準にとどまり、世界の造船各社は収益改善のための正念場を迎えております。

また、修繕船事業における事業環境は中国及び東南アジアの造船所との厳しい価格競争が繰り広げられており、機械事業における事業環境は当社の主力商品である舶用クランク軸などの舶用資機材は、新造船市況低迷の影響により厳しい状況が続いております。

このような環境において、当第2四半期の当社グループの連結売上高は、前期に発生した中型油送船建造における工程混乱を解消するために当期の操業計画の調整を行ったことなどから、前年同期比3,532百万円減少の14,577百万円となりました。なお、当第2四半期に引渡した新造船は11万5千重量トン原油タンカー2隻となり、当第2四半期末の連結受注残高は60,252百万円となりました。

損益面においては、売上高の減少や鋼材価格の値上げに伴うコストアップなどの悪化要因はあるものの、当第2四半期末の為替相場が前期末に比べて円安水準となったことに伴う工事損失引当金取崩の影響などにより、連結営業損失1,065百万円、連結経常損失768百万円、連結四半期純損失は853百万円となり、損失額は夫々前年同期に比べ大幅に縮小しました。

なお、前期に発生しました中型油送船建造の工程混乱は、操業計画の調整と親会社である株式会社名村造船所の支援により収束に向かっています。今後も工程混乱の終結と正常化を最優先課題として取組みますとともに、技術力の強化と全社を挙げたコスト削減活動により収益の改善を図ってまいります。

以 上

【問い合わせ先】

佐世保重工業(株)
総務部長 廣津 忠
(0956-25-9111)